

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス じょうなんキッズ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 3月 3日		～ 令和 7年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 3日		～ 令和 7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人が障がい福祉サービスにおいて様々な機能を持っています。	一人ひとりの障がい特性に応じて、将来を見据えた支援やアドバイスを行なっています。他サービスや関係機関とも連携し、必要と思われる情報をタイムリーに提供できるよう、意識して取り組んでいます。	就労系や生活介護、グループホーム等、卒業後のビジョンが明確になるよう、職員が体験実習等を行って知識を深めて行きます。
2	各種専門職を配置し、特性に応じた支援を行なっています。	理学療法士や保育士等、各種専門職が心身の成長が著しい時期のお子さまに応じた支援を行っています。職員も児童分野だけではなく、保育機関や障がい者支援、医療や栄養等の経験を持ち、特色のある活動を展開しています。	職員の資格取得や、各種研修への参加も積極的に行なっています。職員一人ひとりがスキルアップすることで、今後更に質の高い支援を提供できるものと期待しております。
3	アセスメントを重視しており、一人ひとりの強みを見つけて支援します。	様々な特性の中からも、得意なことや輝くものを見つけ出せるよう、アセスメントに時間をかけています。構造化等の環境面からアプローチを行い、お子さまの意思を踏まえながら支援を行います。	一人ひとりが過ごしやすく、様々な場面で意思決定の選択ができるよう、今後も環境を整えて行きます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のほかの子どもと活動する機会がない。	集団活動やコミュニケーションを課題としているため、現段階ではお互いに困難と判断しています。目標としてはそこを目指しているため、まずは事業所内の支援として取り組んでいる所です。	地域の学校に通われているお子さまには、学校でのお友達との関わりのご様子から必要な支援を行います。支援学校に通われているお子さまには、居住地交流等の学校の取り組みのバックアップを行います。
2	保護者同士の交流する機会が少なかった。	感染症の流行が収束しましたが、まだ以前のようにイベントを行うまでの体制を整えていないのが現状です。今年度はクリスマス会は中止し、茶話会のみ開催でした。開催時期や内容も工夫が必要と感じています。	感染症の流行が収束後、生活様式が大きく変化しました。ひとりでも多く参加して交流を持ってもらえるように、事前のアンケート等で要望を調査し、参加したいと思えるイベントを計画します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス じょうなんキッズ

公表日 令和 7年 3月 14日

利用児童数 13

回収数 12

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11			1	運動する場所も別にあつていいと思いま す。	定員以上のスペースは確保しています。 また活動場所も室内・室外共に用意して おります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1		利用児に対する人員配置基準に加え、よ り細やかな支援が行えるように加配人員 も配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1				配慮が必要なお子様に応じた環境設定 や、分かりやす表記の工夫を行って おります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	11			1		常に整理整頓・清掃を心掛けており、お 子様に安心して活動できる環境を設けて います。
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	12					アセスメントを重視し、一人ひとりの特 性や得意なことを活かせる支援を心がけ ております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	12					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	12					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	12					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	11	1				個々の特性に応じたプログラムの立案を 行うようにしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	12					目的がある場合は活動を固定すること もありますが、様々な経験ができるような プログラムを組むようにしています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	3	1	3	5	夕方の短い時間帯ではなかなか難しいと 思います。	地域の児童クラブ等との交流は出来ませ んでしたが、同一法人の放課後等デイサービスとの 合同活動を定期的に行っております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	12					ご利用について必要な事項は契約時に説 明を行っています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	12				紙面で説明されていると思います。	担当者会議、モニタリング、面談時に適 宜説明して同意をいただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	11	1				家庭での関わり方に対して、事業所での 成功例を基に、声かけの方法等のアドバ イスを行っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思 いますか。	12					お迎え時や送迎時に活動中の様子を詳し くお伝えし、一緒に成長の状況や課題の 確認を行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12					定期的に面談等を行うことで、困りごと に対して助言を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思 いますか。	12					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいの支援がされていますか。	9	1		2	茶話会で母親同士との交流はあるが、父 親の参加は仕事上出来ない事が多いで す。	年に1～2回交流の場を設けておりま す。感染症の流行が収束したため、今後 は内容や開催回数を検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	12					相談があった際にはその都度対応をさせ て頂いております。また日々のご様子か ら変化を感じた際には、こちらからお声 かけをしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思 いますか。	12					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11			1		自己評価と支援プログラムについては、法人のホームページにて公表しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					個人情報取扱に関する同意書を作成し、同意をいただいております。また情報の取り扱いには慎重に対応しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			1		各種マニュアルを作成し、定期的に訓練も実施しております。安心安全にご利用して頂けるように努めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			1	毎月実施されているので良いと思います。	毎月1回、地震・火事・水害などを想定した避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1		事故や怪我等が発生した際は、保護者へ速やかに連絡をとり、状況や状態をお伝えしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1		2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12					

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス じょうなんキッズ				公表日	令和 7年 3月 14日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		定員以上のスペースは確保しています。また活動場所も室内・室外共に用意されています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		利用児に対する人員配置基準に加え、より細やかな支援が行えるように加配人員も配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		一人ひとりの特性に応じ、活動内容によって場所を明確に分けています。視覚支援として絵カード等も使用します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		障がい児支援に合わせた空間を作っており、窓や扉等もお子さまの視界に合わせたものとしております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		活動やお子さまの状態に応じて、個室やパーティションにて活動環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員が意見を出し合いながら、皆で改善していくように心がけています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価表だけではなく、日頃からコミュニケーションを大切にし、ご相談や要望があった際は改善を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日頃から職員間でのコミュニケーションをとり、風通しの良い環境のもとで業務改善に繋がっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者評価はまだ受けておりません。法人内で順次受けており、準備を行っている所です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		スキルアップを目的とし、積極的に参加を促しています。研修後は事業所全体に共有しています。	
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントには時間をかけるようにしています。面談にてニーズの聞き取りを行い、課題を明確にして計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員それぞれが意見を出し合いながら情報を共有し、合意形成を図って計画作成を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個人毎の専用ファイルを準備し、会議での確認や、職員が常に関覧できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		発達検査等の結果を参考にしながらも、日々のご様子や成長に応じて関係機関とも情報を共有し、アップデートしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		5領域から一人ひとりの課題を明確にし、お子さまが分かりやすく、意欲的に取り組める内容の支援を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		5領域を意識し、職員の専門性を活かした活動をチームで考えて計画しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		目的がある場合は活動を固定することもあります。様々な経験ができるようなプログラムを組むようにしています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		支援の目的や利用児の状態に応じて、小グループや個別で対応できる体制をとっております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前にケース会議を行い、おさまの状態を共有します。それぞれの職員の意見も踏まえ、対応の変更や改善を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		サービス提供の翌日にケース会議を行い、個人毎に支援の振り返りと課題の検討を行い、次の支援に繋げています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は細かく残しています。経過を見ながら支援の検証を行い、支援方法の見直しを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者とのモニタリングや事業所内の会議にて療育の効果や目的を確認し、利用児の変化に対して素早く対応しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			地域交流の機会は少ないため、今後検討を行っていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。必要に応じて日頃支援に携わっている職員も参加します。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、関係機関と連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時や電話連絡等で情報を共有しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談支援専門員を通じて、情報提供をいただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		卒業後、移行先の事業所で安心して過ごせるように、保護者、本人の同意を得て、情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		地域の児童発達支援センターが主催する研修等に参加し支援、業務の改善に努めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の児童クラブ等との交流はできませんでしたが、同一法人の放課後等デイサービスとの合同活動を定期的に行いました。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		事業所より1名参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お迎え時や送迎時に活動中の様子を詳しく伝え、一緒に発達の状況や課題の確認を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家庭での関わり方に対して、事業所での成功例を基に、声かけの方法等のアドバイスをしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご利用前の見学や、契約時に説明を行っています。ご不明な点等をお尋ねし、安心してご利用いただけるようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用児を中心に保護者の要望も取り入れた計画を作成しています。分かりやすい内容で表記・説明を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		利用児と保護者へ支援内容を詳しく説明し、署名をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談の他にも送迎時等にお話を伺い、相談しやすい関係づくりを行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		ファミリー交流会や茶話会等、ご家族で参加できるイベントを計画して開催しております。	ご家族で参加できるように内容等を工夫していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所での対応の他に、法人の苦情解決委員会に報告し、適切に対応できる体制が整っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		活動の予定、内容については予定表を配布し、実施した内容を連絡帳等でお知らせするようにしています。	法人のホームページへの活動掲載等、今後検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については、規程に基づき管理させていただいています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		情報伝達に行き違いが生じないように、一人ひとりに応じた方法で配慮を行っています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人全体で地域との連携やえんがわ事業を行っており、事業所運営にも理解をいただけるよう努力しています。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成しており、定期的に訓練も実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月1回火災、地震、水害、防犯などを想定し実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		服薬については投薬依頼書の提出をお願いしています。てんかん発作がある場合は発作時の様子、対応の仕方など確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		常時食事の提供は行っておりませんので指示書まではいただいておりますが、活動（クッキング等）を行う為、食物アレルギーの有無は利用開始時に保護者に確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練等を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの事案は報告書を作成し、職員間で共有し再発防止対策を話し合っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内で虐待防止委員会を設置しています。ポスターの掲示、研修への参加、日々の支援の小さな出来事への気づきを大事にし、職員間で確認しあえる関係性、環境作りに取り組んでいます。	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	○		法人内の虐待防止委員会で定期的に会議が行われています。議事録等は職員にも閲覧し、周知を図っています。	
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		どのような場合に身体拘束を行う可能性があるかを説明し、同意を得て計画に記載しています。	